



# 愛西市 議会だより

AISAI CITY  
ASSEMBLY

No.30  
2012.11.1



勝幡小学校 運動会(あいさい写真クラブ提供)

人々が和み、  
心豊かに暮らすまち

定例会結果 .....	2
議案説明・質疑・討論 .....	3
<b>ここが聞きたい</b> 一般質問 .....	6
委員会レポート .....	18
議会活動日誌 .....	22

発行／愛西市議会  
編集／議会広報特別委員会

〒496-8555  
愛知県愛西市稲葉町米野308番地  
TEL(0567)26-8111 FAX(0567)26-7141

## 9月定例会で決まりました

愛西市防災会議条例及び愛西市災害対策本部条例の一部改正	可決（全員賛成）
愛西市火災予防条例の一部改正	可決（全員賛成）
市道路線の廃止	可決（全員賛成）
市道路線の認定	可決（全員賛成）
平成24年度愛西市一般会計補正予算（第2号）	可決（賛成多数）
平成24年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
平成24年度愛西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
平成24年度愛西市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
愛西市長等の給料の特例に関する条例の制定	可決（全員賛成）
愛西市人権擁護委員の候補者3名の推薦	適任（全員賛成）
平成23年度愛西市一般会計歳入歳出決算の認定	認定（賛成多数）
平成23年度愛西市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	認定（賛成多数）
平成23年度愛西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定（賛成多数）
平成23年度愛西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定（賛成多数）
平成23年度愛西市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定（賛成多数）
平成23年度愛西市農業集落排水事業等特別会計歳入歳出決算の認定	認定（全員賛成）
平成23年度愛西市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定（賛成多数）
平成23年度愛西市水道事業会計決算の認定	認定（賛成多数）
「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願	不採択（賛成少数）
「教育費無償化」の前進をもとめる請願	不採択（賛成少数）
定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決（全員賛成）
国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可決（全員賛成）
愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可決（全員賛成）



# 統合庁舎整備事業 7億円増額を可決

## 質疑

総事業費は53億円なのか。大きく上回るのか。また、事業の資金をどこから捻出する計画か。合併特例債の発行期限が延びたのか。いつまで利用できるのか。

## 答弁

周辺道路や駐車場整備、支所の整備、防災倉庫などで約53億円。経費を出して来年度予算計上したい。コスト縮減に努めたい。公共事業整備基金から約20億円程度を使い、残りのうち、対象となるものは合併特例債

## 質疑

設計入札のプロポーザルの質疑回答書で、「35億円には庁舎の改修費として、移転費用、機器整備の改修の費用、外構費も含まれるか」との業者からの質問に、市は「そのとおり」と回答している。どの節目で7億円増えたのか。20億円を基金から使う根拠。起債計画は。

## 質疑

設計入札のプロポーザルの質疑回答書で、「35億円には庁舎の改修費として、移転費用、機器整備の改修の費用、外構費も含まれるか」との業者からの質問に、市は「そのとおり」と回答している。どの節目で7億円増えたのか。20億円を基金から使う根拠。起債計画は。

## 答弁

4月に詳細設計の作業に入った。外構設備、附帯建屋など6・7月頃にこれだけの経費が必要になるとわかった。公共事業整備基金のうち、21年度から統合庁舎のため積

## 反対討論

が、市は費用の見直しを約束した。

社会情勢の悪化の中で、市民の生活を鑑み、市民の声を取り入れ、統合庁舎建設費の見直しをはかることを信じ賛成する。

## 賛成討論

統合庁舎建設に関し、地中熱利用や議場音響映像システムなど、承服できない案があるが、

## 修正案は否決

議員提案で修正案が2案「統合庁舎建設費の継続費のみを削除する」「継続費と駐車場建設の起債ほか庁舎関連の歳入歳出を削除する」が出されましたが、いずれも賛成少数で否決となりました。

## 統合庁舎整備事業関連補正予算

### 1. 継続費補正

事業名	補正前総額	補正後総額
統合庁舎整備事業	33億8850万円	41億5150万円

### 2. 地方債補正

起債の目的	補正前限度額	補正後限度額
統合庁舎整備事業	8190万円	2億6280万円

### 3. 歳入・歳出補正額

歳入	
統合庁舎整備事業事業債	1億8090万円
歳出	
統合庁舎整備費	1億8902万2千円
内訳) 駐車場用地購入費	
支庁舎用地調査測量等委託料	
備品家具設計委託料 など	

## 答弁

4月に詳細設計の作業に入った。外構設備、附帯建屋など6・7月頃にこれだけの経費が必要になるとわかった。

補正予算案に  
賛成  
反対  
??

## 賛成討論

統合庁舎建設に関し、地中熱利用や議場音響映像システムなど、承服できない案があるが、

# 条例改正

## 防災会議条例及び愛西市災害対策本部条例の一部改正

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行により、改正するものです。

### 質疑

構成員に、自主防災会の代表が入ったが、防災関係のNPOなども対象にすべきではない。

### 答弁

学識経験のある者の中には、実績のあるNPO法人も含まれるが、現時点では自主防災組織の代表者をお願いする。

## 火災予防条例の一部改正

電気自動車の急速充電設備を対象火気設備等の対象として追加し、急速充電設備を

設置する位置、構造及び管理に関する基準を定めるものです。

## 平成24年度補正予算

### 一般会計補正予算

補正額 8億4千264万4千円  
総額 220億7千472万9千円

主な内容は、防災情報通信ネットワーク整備工事費、統合庁舎建設に伴う駐車場用地購入関係経費、児童クラブ室改修による増設設計等委託料、耐震性貯水槽新設工事費などです。

### 質疑

防災備蓄品管理台帳作成委託料について、避難所何力所分か。備蓄品の種類は。

### 答弁

53力所ある。一概に何品目とは答えられない。紙ベース

での管理をデータベース化したい。

### 質疑

防災無線の83基について、設置場所、設置数の基準は。

### 答弁

平成18年度に予備調査を行い、設置候補地をリストアップし、その中で、音声が届く範囲、集落や避難所なども考慮した。

## 国民健康保険特別会計補正予算

〔直営診療施設勘定〕

補正額 △976千円  
総額 1億6千116万6千円

### 質疑

顧問医師の役割と必要性は。

### 答弁

後任の医師は毎日勤務。前任の医師は、火曜日と木曜日。2人体制となる火曜日と木曜日は、1人が外来診療に重点

的に当たり、もう1人は医療機械を使った検査関係に従事する。効率的に検査や診療を行い、医療の充実を図る。常勤の医師の急な休みにも対応できる。

## 後期高齢者医療特別会計補正予算

補正額 438万3千円  
総額 6億5千766万3千円

## 介護保険特別会計補正予算

〈保険事業勘定〉  
補正額 1千395万9千円  
総額 38億5千81万7千円

## 平成23年度一般会計歳入歳出決算

### 質疑

会社が倒産し、預けてあったごみ袋がなくなった問題について、原因と対策は。

### 答弁

毎年組合で入札発注するが、業者が決まり納品に至る間の在庫を確保する意味で、業者に年度をまたぐ形で在庫保管をしてもらった。対策は、ごみ袋の納品に必ず立ち会い、種類ごと倉庫ごとに在庫管理簿を作成、市の倉庫スペースも確保した。

### 質疑

集団転作作物について、勝幡地区の大豆の栽培は、作付時期が稲作と異なり、隣接する住宅に害虫による被害が出ている。対策は。

### 答弁

害虫発生の原因は、冬場の





草の処理が不完全なところに大豆を作付したため。あいち海部農協に、地域に合った作物の検討や、虫の発生を未然に防ぐため農地の適正管理を要望した。

**質疑**

ファミリー・サポート・センター事業、民間保育所運営委託事業、学校給食事業など委託の会計検査の方法は。

**答弁**

各課から1件100万円以上の委託事業を抜粋した決算審査資料を事前に提出してもらい、監査事務局の職員が記載漏れ、契約変更などをチェックし、疑問に感じたものは、予算差引簿や支出調書で確認している。

**国保特別会計決算認定**

**質疑**

透析患者県下第2位との報道があった。国民健康保険財政に大きな負担があるとも伝えられているが、市の見解は。

**答弁**

生活習慣病の受診率を以前調べたが、平成22年5月のレポート調べで、糖尿病受診が11・71%あった。糖尿病性腎症は1・67%だった。長年の健康管理や食生活が影響している。  
医療費の抑制は大きな問題。健康推進の取り組みの中で考えていきたい。

**公共下水道決算**

**質疑**

将来の繰入金、地方債の発行、公債費について、どんな見通しを持っているのか。

**答弁**

公共下水道総事業費は、282億円。起債の発行総額及び一般会計の繰入総額は膨大。建設工事費は、国庫などの財源を確保し、歳出の削減、起債の発行の縮小に努めた。また、接続促進を強化し、下水道使用料の収益の確保に努め、起債利息等に充当する。



**討論**

**一般会計決算**

**賛成討論**

公共下水道事業、勝幡駅前周辺整備事業などの継続事業とともに、総合斎苑、学校給食センターが完成した。  
その他、観光協会設立事業、子ども手当の充実、子宮頸がん等予防接種事業、家具転倒防止金具取り付け事業などは、市民の日々の生活に直接関連する望ましい事業である。

**反対討論**

家具転倒防止金具取り付け事業、行政防災無線整備、子

宮頸ガンワクチン助成、自治基本条例制定や防災コミュニティセンターの全域整備に向けた予算など、住民要望に応え防災対策や市民参加を進める点は評価できる。  
しかし、PFIによる給食センター建設、民間営利会社へのスポーツ施設の指定管理、特別会計への繰入金を減らして国民健康保険料引き上げたことなどには賛成できない。

庁舎統合計画も、斎場建設の問題が教訓とされず、市民の声を十分に聞かずに進められている。



**人権擁護委員候補者**

- 山田 彰子 氏 (鯉江町)
- 荻野 周子 氏 (勝幡町)
- 真野 一恵 氏 (須依町)



竹村 仁司 議員

## 子ども・子育て支援対策を

### 質問

平成22年度、議員として初めての6月議会において、放課後児童クラブの小学3年生までの枠を1年でも2年でも拡充できないだろうかという質問をした。今回、小学6年生までに拡充するとの方針に至った経緯は。

### 福祉部長

国では、新しい子ども・子育て新システムが検討されており、児童クラブの対象児童についても、現行の「小学生に就学しているおおむね10歳

未満の児童」から、新制度では「小学校に就学している児童」ということで対象が拡大された。また、市の総合計画では、安心して子どもを産み育てることができ環境をつくるということも理念に掲げている。

### 質問

26年度から小学6年生までに拡充するために、どのようなプロセスで行っていくのか。また、その計画は。

### 質問

予算については、放課後児童クラブの拡充という施策が将来の市のまちづくりにおいて重要な課題であると位置づけ、国・県に対して補助のお願いをすべきと考える。そして、市からの持ち出しは極力

### 福祉部長

10月から調査を行い、実際の設計に入っていきたいと考えている。25年度には増築工事に取次かり、26年4月から高学年を受け入れていきたい。



北河田児童館

抑える方向で進むべきでは。

### 福祉部長

補助金の関係だが、非常に厳しい状況にある。しかしながら、今後も引き続きその要望を続けていきたい。

## いじめ問題への取り組みは

### 質問

本市でいじめとして取り扱われている各小・中学校の件数は。

### 教育部長

23年度に認知をしたいじめの件数だが、小学校8件、中学校22件。24年度、1学期までの間に小学校1件、中学校3件である。

### 質問

市総合計画の中には、開かれた学校づくりの推進とあり、保護者や地域住民等の意見を幅広く聞くため、全校に学校評議員を設置し、開かれた学校、地域に根差した学校づくりを推進するとある。

### 教育部長

いじめの問題に関しても、こうした幅広く意見を聞くということが大切になるのではないかと。いじめの問題では、組織的な発見が重要になる。組織とは、子どもの目、教員の目、家庭の目、地域の目の4つの目を活用して発見することだ。学校評議員制度により、地域の連携や協力の要請など、相乗効果を得ることを期待している。



## 今後の財政見込みは

**質問**

現在の市の予算規模は、平成24年度一般会計予算で、約220億円であるが、今後の適正予算規模をどのように考えているのか。

いるのか。

また、適正予算規模（190億円）にするのは、何年後か。

**企画部長**

今回のシミュレーションに、庁舎関連予算も含んでい

**企画部長**

23年度決算をもとに試算すると、適正予算規模は約190億円と考えている。

また、適正予算（190億円規模）に、33年度には、しなければならぬ。

**質問**

当局のシミュレーションには、庁舎関連予算は含まれて

**質問**

25年度・26年度の市債・基金の予測は。

**企画部長**

予算ベースで、今年度、財政調整基金の残高が31億円。

25年度で、8億5千万円ほどの歳入不足で、基金からの繰り入れが必要となる。

26年度で、23億5千万円の財源不足で、この時点で財政調整基金の残高がなくなるのではないかと考えられる。

なお、これらは、25年度で臨時財政対策債が打ち切られると仮定してのシミュレーションである。

**質問**

予想される不足部分の対策は。

**企画部長**

経常的に行われる支出の削減。

また、各特別会計（23年度決算で合計22億5千万円の繰出し）への繰出金の圧縮に努めていきたい。

**市長**

将来に持続可能な財政運営をしていかなければならない。

## 河川対策の現状と今後は

**質問**

南海トラフ地震の予測が報道され、愛

知県西部は、防潮堤が機能すれば浸水は

限定的との見解が掲載され

た。当市の問題点と対策は。

**経済建設部長**

河川堤防は、治水上おおむね整備されている。

問題点は、堤防高を確保できない箇所が一部残っていること。

今後、県防災会議の結果を踏まえて、河川堤防の再点検を行い、対策を検討していきたい。

**質問**

近隣市町村・県・国に対策について働きかけを強くしてもらおう必要があると考えるが。

**市長**

今後も、要望していきたい。



愛西市内(木曾川・長良川)の風景

## 独身未婚者の結婚支援は



山岡 幹雄 議員

### 質問

平成17年には男子30代前半でも未婚率が5割に近づき、女子が20歳代後半の未婚率が6割、生涯未婚率（50歳の未婚率）は上昇を続け、22年は男性で20・1%、女性で10・6%に達している。生涯未婚率の上昇は、日本において結婚慣習の崩壊が近づいていることで、男子は2割、女子1割が結婚しない社会となっている。市において、男女30歳以上の未婚率はどれくらいか。

### 企画部長

22年の国勢調査での未婚率は、男性の30歳から34歳が51・1%、35歳から39歳が31・5%、40歳から44歳が



23・9%である。女性は30歳から34歳が34・1%、35歳から39歳が17%、40歳から44歳が12・2%おり、右肩上がりになっている。

### 質問

未婚者の上昇で少子化が社会的に問題化されている。市は対策があるのか。

### 副市長

若者の定住促進を目標にし、独身男女の交流を促進するような婚活イベントを商工会やNPO法人、観光協会と研究する。

## 車載カメラ伝送システムの導入は

### 質問

22年度から、海南病院の施設整備に行政支援をしているのはなぜか。

### 消防長

行っていない。

### 質問

現在、海南病院は、150人の医療体制で、3台の救急車に対処できる。完成後、4台の救急車に対処できるが、救急車に車載カメラ伝送システム導入の検討は。

### 市民生活部長

高度救急センターや救急病棟などの整備、建て替えの補助金である。今後、第3次救急医療体制の役割を担うことが期待されている。

### 質問

海南病院は、4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）、5事業（救急医療、災害医療、僻地医療、周産期医療、小児医療）の医療体制の計画をし、市民が安心して医療を受けられる体制になっている。

海南病院と指令センターの連携について協議をしたか。

### 消防長

海部地方では救急救命体制を構築する海部地区メディアコントロール協議会を発足し、消防長、海南病院など海部地区の2次病院、及び名古屋第一赤十字病院など、近隣の3次病院の代表者などで構成。その場で病院の意向を聞きながら検討を進めていく。

### その他の質問

・再生可能エネルギーの対応



# 南海トラフ地震に備えよ



南海トラフ地震の被害予想報道

巨大地震、南海トラフ地震である。その被害想定は想像をはるかに超えた衝撃的なデータであった。

をどのように聞いて行くか。

### 総務部長

弥富、飛鳥村のような避難タワーは、市として準備できない。危惧するのは地震。津波で一番怖いのは、堤防が破損し浸水する被害。

### 市長

7年余の間、合併しているんな難しい状況の中で、みなさんの理解・協力を得、事業をまとめてきたつもりだ。マニフェストはおおかた果たせたと思っている。

今、出馬するかしないかについては、与えられた任務を精いっぱいこなすという答えより持っていない。

### 質問

今、地区の方々が一番関心

のあるのは、8月29日に内閣府の有識者会議で発表された



石崎たか子 議員

の怒りの声が上がっている。どのように住民の安心安全が守れるか。  
 市のかじ取りをする市長選挙が来年4月21日告示、28日投票と発表があった。八木市長に再出馬の意思は。過去を振り返り、自身の出したマニフェストに対し、どう思っているか。  
 3期目を目指すなら、そのかじ取り、住民の思いや要望

## 資源ごみの有効活用を

### 質問

平成23年度の資源ごみの収益は、一般会計の雑収入に資源ごみ売りさばき代として、1千237万6千659円を計上している。

先月ボランティアの方が幼児用の遊具を2年半かけて公園に設置したように、資源ごみ売りさばき代を公園の整備・遊具の買い替えなどに使用は。

### 市民生活部長

資源ごみの売りさばき代金は、ごみ処理費用に活用しているの、理解してほしい。



榎本 雅夫 議員

## 障がい者の方への支援の充実を

**質問**  
避難所のトイレの現状と、組み立てトイレの備蓄状況は。

**総務部長**

53カ所の避難所に洋式トイレの手すり有りが101、無しが120。和式トイレの手すり有りが42、無しが38。多目的トイレは37。  
障がい者に対応した組み立て式のトイレは55台備蓄している。

**質問**

避難所は和式が多く、障がい者がトイレに行くのは大変である。洋式の便座にもできる簡易段ボールトイレを備蓄してはどうか。

**総務部長**

検討して、取り入れていく。

**質問**

障がい者の就労支援の取り組みは。

**福祉部長**

障害者地域生活支援セン

ターで就職、就業先の開拓を行って雇用の促進を図っている。

**質問**

色覚障がい者に配慮したカラーバリアフリーの取り組みは。

**福祉部長**

現状は取り組んでいないが、先進の自治体の状況を参考にして検討したい。

**総務部長**

統合庁舎において、サイン表示など取り組んでいく。

**質問**

公共施設の駐車場に内部障がい者マークである、「ハート・プラス」を掲示しては。

**総務部長**

統合庁舎において、車イス駐車場の隣に、思いやり駐車場ということで設置予定。

内部障害者に理解を深める



ハート・プラス

## 市民の健康を守る取り組みは

**質問**

特定健康診査の受診状況は。また、地区別受診率と周知は。

**市民生活部長**

平成23年度は、対象者1万4千713人で、受診者5千617人。38・2%で、21年度よりほぼ毎年横ばいの状況だ。佐屋地区44・6%、佐織地区37・2%、八開地区30・3%、立田地区27・2%である。  
受診率向上のため、啓発活動として、回覧板を出したり、未受診者へ再勧奨の通知などを実施している。

**質問**

がんは、医療の進歩により治る病気になってきた。そのためにも早期発見が不可欠である。がん検診の受診状況は。

また、胃がん検診の検査項目にピロリ菌の除菌を追加して実施すれば、費用対効果が期待できると考えるが。

**市民生活部長**

23年度は、胃がん15%、子宮がん9%、乳がん12%、大腸がん24%、肺がん19%、前立腺がん23%。  
ピロリ菌検査は、現段階では公的検診で行わない。



# 防災コミュニティセンター計画は

**質問**

合併後に整備された給食センター、火葬場、統合庁舎の目的と考え方は。

**市長**

給食センターは、児童生徒の食育の拠点、多様化する給食の提供などのために、佐屋・立田を統合し建設した。斎苑建設も紆余曲折はあったが、将来的に市民に喜んでもらえると思信している。本庁舎建設は、トータル的な行政の能率化、集約化、職

**質問**

員数の削減も含め、見直しをし、考え方を示して協議を進めていきたい。

**質問**

防災コミュニティセンター整備計画の目的と考え方は。

**企画部長**

整備計画は、平成23年5月に策定した。災害時の避難所の整備とあわせ、市民のコミュニティ活動の拠点となる施設整備の基本的な指針を示したものの。

**質問**

八開地区防災コミュニティセンター計画の現状は。

**企画部長**

現在、具体的な建設候補地は持ち合わせていない。

**質問**

八開地区の候補地は、いつ決められるのか。

**企画部長**

市有地や、既存施設の有効活用など、総合的に比較検討し判断をしていく。



鬼頭 勝治 議員

## いじめの早期発見への取り組みは

**質問**

いじめは、どの子どもにも、どの学校にも起こり得るものと言われている。その認識に立って、大きく変わってきた家庭、学校、地域社会などそれぞれの役割を果たし、一体となつてこの問題に真剣に取り組む必要がある。

市のいじめへの対応と早期発見の取り組みは。

**教育部長**

校内のいじめ防止対策委員会で指導方針などを協議し、全教員が共通理解のもと取り組む体制をとっている。

いじめられる子、いじめている子にも遅刻欠席などの特徴的な行動がある。早期発見のため、全教職員間の緊密な情報交換や共通理解を図り、迅速な行動をとることとしている。

**教育長**

学校、教育委員会、お互いに問題を共有することが一番大事である。

**質問**

大津市のいじめ問題を受けて、教育委員会でのような意見、議論があったのか。

**教育長**

教育委員会は、今後発生したときにどのような対応をするのか、また学校長には、危機感を持って子ども達に当たるよう指示している。



## 新庁舎整備予算の圧縮を



鷺野 聡明 議員

### 質問

庁舎関連総事業費が53億円と公表された。検討事項を積み残したまま、性急に予算計上、発注へと進めるのは問題が多い。

市は統合庁舎建設・改修基本設計案における市民の意見募集を行った結果、20人(58件)から意見が寄せられ、予算圧縮の声が多かった。

追加設備など7億6千300万円を議会で十分議論した上で、コスト削減を進めるべきではないか。当初計画の35億円への予算圧縮に努めて、多

愛西市 基金残高・市債残高一覧表



単位：百万円

	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末
基金残高	9,457	10,204	11,320	12,817	13,337	13,932	15,493
市債残高	21,275	23,580	25,307	26,549	27,568	28,994	30,482

※一般会計・特別会計・企業会計の合計額(ただし、土地開発基金の土地は除く)

くの市民への説明、理解を得ることが大切だと思う。

検討事項として、①追加設備費②新庁舎の維持管理費③立田・八開・佐織庁舎の活用方法④コスト削減への発注方法について問う。

### 総務部長

コスト削減策は今後予算を認めてもらった中で、発注していくまでに内容などを再度精査したい。いろいろな指摘を

されているので、執行部側で見直すべきところは見直したい。

庁舎の維持管理費は早急に作業を進めている。

立田・八開・佐織庁舎の活用方法は、「支所の整備計画書」を議会に配布しており、整備計画でも4億9千万円を予定している。

コスト削減の発注方法については現在決めている。

### 副市長

53億円からどれだけ削れるかといった議論を、早い機会にやっていきたい。

### 市長

副市長の答弁のとおりである。今回のことで、この後、幹部会を招集する。再度自分の考え方を幹部に伝えて、きちんとさせたいと思っている。

議会の意見を十分聞きながら努力したい。

### 質問

平成27年3月、合併10年目の借金の見直しは。

### 企画部長

23年度の市債の合計は304億円。27年3月に、基金・市債がいくらかというシミュレーションは行っていない。

## 公共料金の統一方針は

### 質問

市民の公平・平等性から公共料金の統一を求める声もあるが、市の方針は。

23年度愛西市水道企業会計決算では、損失が1千293万円。原因と対策は。

### 上下水道部長

3・11の災害以降、佐織浄水場の井戸の必要性、重要性を認識し、継続してこの井戸

を利用したい。水道料金については、19年9月に改定をしている。すでに5年経過し、近い将来、料金改定を検討する。

人口の減少、節水意識の高まり、費用面では施設更新に伴なう企業債の利息償還増加、浄水場の修繕などがかさんで前年度より赤字が多くなった。



## 4庁方式を維持が7割

### 質問

庁舎問題は、市において最も重要問題になり、市民の関心も高まってきた。

日本共産党は、庁舎アンケートに取り組んでおり、9月9日に「しんぶん赤旗」の読者ニュースで、中間まとめを報告した。結果は、

- 現在の4庁舎方式を維持する(69%)
- 増築はやめ、現施設を耐震補強し使う(67%)
- 借金を増やす事業はやめるべきだ(57%)

住民の声の一部を紹介すると、

「高齢化社会を迎えている現在、佐屋地区偏重の統合は時代逆行だと思う。行政が近所であることが、まず第一。」  
「永和出張所を利用して。私も含め高齢者が多く、これから増えるので維持してほしい。」

「津島市と合併し、庁舎は津島にすべきだ。従って増築は暫定であり、仮設で十分。勝幡地区は、市役所が遠く、津島を通って行くことばかげ

ている。」

「借金が増えるのは反対。立派なものにする必要はないので節約すべき。一般の家庭でいかに借金を増やさないようにと日々考えているので、安易に借金を作るのとは違うかと思う」

このような市民の声について、市長としてどのように受け止めるか。

### 市長

アンケートの結果は真摯に受けとめるが、市の方針としての考え方は、議会と協議して進めてきている。

### 日本共産党の庁舎アンケート（中間まとめ）

問1 4庁舎方式か、統合庁舎か	
○4庁舎の維持	69%
○部局を市役所に集める	28%
問2 増築庁舎について	
○施設の耐震化で対応	67%
○増築に賛成 ※「賛成だが費用を減らす」も含む	24%
問3 財政について	
○増築は極力借金を増やさないで建設する	38%
○借金を増やす事業はやめるべきだ	57%

## 35億円は新築の予算規模

### 質問

庁舎検討委員会の資料では、増築の場合の総額は16億円から24億円、新築の場合の総額は35億円から41億となっている。35億が新築の下から2番目、41億なら一番上、53億円という数字は、全くない。この事業費35億円は増築ではなく新築の金額ではないか。

### 総務部長

あくまで増築として進めている。35億円は他市の事例を参考に活用した。

### 質問

庁舎の維持管理費の推計では、現在の4庁舎の合計に、大規模修理費を含めると、年間約1億6千万円かかる。この金額を下回らなければ経費節減にはならないのでは。

### 総務部長

維持管理費は、整理を今している。

## 都市計画の重要性を問う



大野 則男 議員

**質問**

勝幡駅前広場計画は、何年度に計画されたのか。また、当時の佐織町の総事業予算は。

**経済建設部長**

昭和53年に都市計画道路を決定。その後、平成16年3月に基本計画を策定した。予算額は、20億円を計画していた。

市民の使い勝手のいいという基本の考え方で、立派で豪華なものはいらないのでは。

**総務部長**

基本方針はどこに目線を置くかといえば、市民のみなさんだ。他に職員も使わせてもらうわけだが、「誰もが使いやすい持続可能な庁舎づくり」をコンセプトとしている。スケジュールの修正も必要と考えている。

とうまちづくりは、都市計画が一番重要だ。市長はそのことをどう考えているのか。

**市長**

将来に向けて次世代のみなさんに負担を少しでも軽くという思いの中で進めている。藤浪駅、斎苑、給食センターと同様にこれからの佐屋駅についても、両方の改札口があった方がいいのかなど、その折に検討してほしい。

一番大事なことは人だと思っ

**質問**

統合庁舎の図面について、4階が全て議場で多くの住民に認めてもらえるのか。

事業費削減のために議員も執行側も知恵を出し合っている。

**総務部長**

4階の議場の図面は、議会で十分審議して、意見を集約してほしい。

**質問**

反省すべき点はし、27年度の完成の基本方針は変えるつもりはないか。

**質問**

市として都市計画を具体的にどう進めるのか、市長としての考えは。

勝幡地区の総事業費と織田信長メモリアル事業費は、他の地区の計画も合せて進捗状況は。

**市長**

具体的に何年度に何をというのは持っていない。しかし構想のある計画は、議会と相談し、財政状況を鑑みながら進めなくてはならない。

**経済建設部長**

勝幡駅周辺整備事業費は、平成23年度までで14億156万円、24年・25年度は7億2千万円。他に、市道20号線道路改良踏切改良で1億5千万円と別に他の市道の工事も予定。信長のモニュメントは4千万円で計画。

佐屋地区は、佐屋駅前の周辺現況調査、立田地区は、ふれあいの里の東側の森川ハス保存田の整備を計画しており、調査後に計画図を作成し、説明会の準備をしている。





# 市民に知らせず「庁舎建設」着々

**質問**

設計業者選定で「概算事業35億円の庁舎改修費には、移転費用、設備機器更改費用が含まれているか、また外構工事は含まれるでしょうか」との業者の質問に、市は「御質問のとおり」と答弁した。

設計者は、35億円で設計をすることが求められていた。

だが、山下設計が進めている設計は、現在の五十数億円になる設計となっている。山下設計は勝手に設計し、市に示してきたのか。

**総務部長**

設計業者は関与していない。市の作業部会の検討の中で膨らんできた。

**質問**

統合庁舎や増築庁舎について、市民に大きな影響を与えるが、どのように知らせるか。

**総務部長**

情報提供は広報とホームページで行ってきた。

**質問**

広報とホームページを見たが、載っていない。

**総務部長**

情報提供が不十分であったという点は否めないのので今後お知らせする。

**質問**

市民に説明して、そして意見も聞いて見るべきだ。

**副市長**

今ここで、住民説明会を開けば、白紙に戻ることになりかねないので、考えていない。

**質問**

永和出張所の廃止反対の5千105人の署名が集まっており出張所を存続すべきだ。

**副市長**

永和地区のみなさんについてもサービスの低下がおきない方策を考えていきたい。

## 違反して何故謝罪しないのか

**質問**

市の農業委員会だよりに農地転用の許可について詳しく載っているが、会長はこれを読んだか。

**農業委員長**

当然、読んでいる。

**質問**

6月議会で、早尾町西立切のあなたの土地の違法転用を取り上げたが、違法転用についての今の心境は。

**農業委員長**

農業委員長として出席しているので、個人的な質問は、答弁を差し控える。

**質問**

会長個人の問題というよりは、会長本人の土地ということだ。悪ければ悪いと言って謝罪すべきだ。

**農業委員会事務局長**

農業委員会としては、土地の所有者ではなく違反転用をしている原因者に指導している。



下村 一郎 議員





真野和久 議員

## 災害時の避難支援や水の供給は

を実施している。それを通じて地域住民とともに取り組んでいきたい。

### 質問

災害時の飲料水の供給について、供給体制は十分なのか。また、地域で持っている井戸について調査をしては。

### 総務部長

備蓄飲料水の放出、給水車による給水、ろ過器・ろ水器による給水、上水道本管からの直接給水所の設置など。

井戸の所有者に協力してもらえれば、備蓄に要する経費やスペースの節約だけでなく、分散化にも寄与する。井戸を所有する事業者に意向調査をしたい。

### 質問

8月29日に南海トラフ巨大地震の被害想定が公表され、市の最大震度が、6弱から6強と大きく変わった。

災害時要援護者対策について、現在、要援護者向け調査が進んでいるようだが、現状と課題は。また、今後の具体的な活用方法は。自主防災会との協議はどうするのか。

### 福祉部長

7月に、障害者と要介護3以上の方へ郵送で同意調査を行った。現在、未返信者に確

認している。

高齢者のひとり暮らし、高齢者のみ世帯は、民生委員を通じて調査し、10月末の回収を目指している。

課題は、調査の反応が少ないこと。

開示に同意し、支援の意思表示をされた方を支援してもらうために、自主防災会などで、名簿台帳による要援護者と支援者の確認、日ごろからの見守りに活用してもらえればと考えている。

23年度よりモデル地区で災害時要援護者支援の模擬訓練

### 上下水道部長

八開浄水場1基、佐織浄水場2基のPCタンクで、飲料水1人1日3ℓとして約7日間の確保をしている。

海部南部水道は11日間の供給が可能と聞いている。



市防災訓練の要援護者避難支援訓練(立田地区)

## 働く人が守られる適正な入札を

### 質問

適正な価格での入札はもちろんだが、しっかりと賃金や単価が払われることが総体的に見ても市全体にとって非常に重要だ。

発注先の労働者や、下請業者の状況を把握しているか。

市は総合評価方式を一部導入しているが、発注や賃金についてもチェックすることが必要では。

また、契約の際、働く人の賃金が適正に払われるよう公契約条例を制定してはどうか。

### 企画部長

契約規則に基づき、下請届が提出されることで把握している。

総合評価方式の評価項目に労働状況の追加は可能であり、どのような状況のものに加点するかは、今後検討していく必要がある。

公契約条例は、いろいろな試みをしながら考えていきたいが、現時点では考えていない。



## 学校老朽化問題は計画的に進めよ

	建設年	経過年
立田南小	昭35年	築52年
立田北小	37年	50年
佐屋小	40年	47年
福原分校	40年	47年
勝幡小	42年	45年
永和中	44年	43年
草平小	45年	42年
立田中	45年	42年
永和小	46年	41年
北河田小	46年	41年
佐屋中	46年	41年
立田体育館	49年	38年
西川端小	49年	38年
佐織体育館	50年	37年
市江小	50年	37年
八開中	50年	37年
永和公民館	54年	33年
八輪小	54年	33年
開治小	55年	32年
佐織西中	55年	32年
佐屋西小	56年	31年

●学校等の建設年度と経過年数  
「施設管理運営方針」より抜粋

### 質問

公共施設の老朽化問題は、今回で4回めの質問だ。特に学校の老朽化は深刻で、1年か2年に1校ずつ建て替えねばならない計算になる。その後、教育局の計画

づくりの進展は。

### 教育部長

古いものは築52年経っており、建て替えを選択するのか、コンクリート補強するのか勉強する。



吉川三津子 議員

### 質問

財政局からは「今後、基金が底をつく。普通建設費も年間8億円に減額せねばやっていけない」と答弁があったが、1、2年に1校の建て替えに財政は耐えられるのか。

どの時期に長寿化改修し、どの時期に建て替えるか、一度に支出が重ならないような長期的計画づくりが早急に必要ではないか。

### 企画部長

財政が持つかという質問だが、以前の議会でも答弁したとおり、無理だ。

### 教育部長

専門的な知識を持った職員が必要だ。早急にということであるが、1、2年か、5年以内でできるか答えられない。

### 質問

新庁舎計画でも、一人の専任職員で進めており、専門家不足である。中途採用をし、新たな部署の設置を提案したい。直ちに実現を。

### 副市長

その方向で考えていく。また、少子化が進むので、余剰教室の古いところから解体するなど総合的に考えていく。

## 三和町の産業廃棄物施設問題

### 質問

三和町に、市も地域住民も知らないうちに産業廃棄物中間処理施設ができた。地域の方々から不安の声を聞いているが、経緯についてうかがいたい。

### 経済建設部長

平成22年に無届けで工事がはじまり、工事中止命令を出した。23年に農振法の届け出があり、3月に農振協議会は了解した。もともと宅地で、農地転用の要件などが不要で現在に至った。類似した土地が他にもあり、同様の問題が今後起きる心配がある。検討していく。

### 質問

現在、違法建築物も建っている。旧畜舎で、23年3月に産業廃棄物積み替え保管場所として、農振協議会は承諾した。

しかし、1年経ったら、産業廃棄物中間処理施設に変更してきた。許可業者なので、届け出だけでできてしまう。これが横行したら大変だ。

土地利用調整条例などを作り、市民や行政が知る機会を作らないといけない。市の考えは。

### 市民生活部長

条例・要綱など、事前協議などについても勉強していく。

# 委員会レポート

## 総務委員会

愛西市防災会議条例及び愛西市災害対策本部条例の一部改正について

**Q** 防災会議は災害発生にかかわらず開催されるのか。

**A** 災害発生の有無にかかわらず、普段から災害対策等について防災会議を開催することができるようになる。

**Q** 他の自治体でも同様の改正がされているか。

**A** 法改正による条例の一部改正であり、他市町村でも順次改正される。



一般会計補正予算について

**Q** 統合庁舎整備費の継続費補正の変更を認めても、今後減額があれば減額補正がされるか。

**A** 予算を認められたからすべて執行するという考えは持っていない。今後議会との協議の場を設け、経費削減に努めていく。

※統合庁舎整備費の補正を無くす修正案が提出され、修正案は賛成少数で否決されました。原案は賛成多数で可決されました。

## 文教福祉委員会

一般会計補正予算について

**Q** 児童クラブ室増設について、低学年利用状況と高学年の利用見込みは。

**A** 児童館・子育て支援センターの12施設で、低学年の登録者が49名、高学年の利用者を21名見込み増設する予定である。

**Q** 予防接種を集団接種から個別接種にする理由は。

**A** 集団接種では生ワクチンを使用して行ってきたが、不活化ワクチンが開発され、通年接種が可能となり接種スケジュールや子ども健康状態の都合で接種できるよう個別接種にした。

**Q** 佐屋中学校用地の購入について、民法上の時効は検討したか。

**A** 民法第162条の所有権の取得時効については内容を検討したが、該当しなかった。



国民健康保険特別会計補正予算について

**Q** 八開診療所の新任医師はどのよう探したか。

**A** 名大医学部附属病院に依頼して紹介してもらった。



# 委員会レポート

## 経済建設委員会

「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願

賛成少数で不採択とされました。

「教育費無償化」の前進をもとめる請願

賛成少数で不採択とされました。

当委員会に送付を受けた陳情で採択されたものは次のとおりです。

・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情

・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

市道路線の廃止について

**Q** 倉庫用地の面積は。またいつごろ倉庫ができるのか。

**A** 面積は約1万3千㎡。着工時期については、県と協議中のため、わからない。

**Q** 地元への説明は。

**A** 要望があれば地元に対し説明するように業者へ指導している。

市道路線の認定について

**Q** パイプラインの破損等に対するトラブル対策は。

**A** 地元協議の中で地元の総代やパイプラインの役員等とも協議をしている。

## 決算特別委員会

一般会計補正予算について

**Q** カーブミラー等の管理台帳システム化の目的は。カーブミラーの設置個所数は。

**A** 一部地区の台帳整備がされていないため、緊急雇用創出事業で台帳を整備し、システム化する。カーブミラーは約2千500本になる。

平成23年度歳入歳出決算認定

●一般会計決算

**Q** 地域防災計画の見直しは、どのように行っていくか。

**A** 県防災計画など上位計画との整合性をはかり、修正していく。

**Q** 固定資産税納税義務者が約700人減っているが、どのような理由か。

**A** マンションなどの区分所有において、土地と家屋が別々所有であったものが、システム変更により共有となつて納税義務者人数が減つた。

**Q** 耐震性貯水槽などの消防水利の不足数は。また、充足率は。

**A** 消防水利の不足数は約150数カ所。充足率は89%ほど。



# 委員会レポート

## 庁舎建設等調査特別委員会

**Q** 乳酸菌飲料配布事業は週3日配布のため一度に数本届く。改善する考えは。

**A** 乳酸菌飲料配布事業は安否確認の方法のひとつであり、今後も週3日配布で行なっていきたい。

**Q** 旧火葬場の現状と跡地の利用は。

**A** 解体が終わり、更地となった。土壌調査は行なっておらず、現在は普通財産である。

**Q** 側溝や舗装の地域要望に対して、何%施行できたか。

**A** 側溝工事で要望の31・7%、舗装工事で要望の30・0%の施工率だった。

第6回の庁舎建設等調査特別委員会を、平成24年8月14日に開催しました。

統合庁舎建設・改修実施設計について及び支所整備についての詳細な説明と、前回の委員会などの意見を参考に配置図などの修正を行った部分について説明をつけ次のような質疑応答がありました。

**Q** 前回の庁舎建設等調査特別委員会からどこに1番のポイントを置いて予算の見直しをしたのか。

**A** 使えるものは使っていくという考え方で、少しでもコストを縮減することを1番に計画している。

**Q** 事業費35億円から41億円になったその考え方は。

**A** 増築棟と既存棟の解体・改修をあわせて、35億円以内におさめた。その他、外構・附属建屋・建築設備等をあわせると、41億1千万円とな

った。

**Q** 耐用年数100年についてコスト的にはどうか。

**A** コスト的には維持管理費を抑えるように設計を進めている。

**Q** 永和出張所の取り扱いについて、住民サービスという観点から存続すべきではないか。

**A** 永和出張所は廃止するが、別のサービスを検討していく。





平成24年8月28日、「政務調査費制度の概要」について協議しました。

他市の状況や内容等の参考資料をもとに次のような意見交換がありました。議会として今後の検討課題です。

- ・委員会視察の費用を政務調査費とし、会派で必要な所へ行くのが良いのでは。
- ・議員定数削減時に削減した経費を政務調査費にあててはどうか。

・市民のことをよく考えて協議する必要がある。

その他として、「議会中継」について話し合わせ、今後の課題として、協議していくことになりました。

政務調査費とは、市が条例の定めにより、市議会の議員の調査研究に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し、交付することができる金銭的給付をいいます。

### 政務調査費に関する近隣市の状況(平成23年調査)

市名	交付年額(円)	市名	交付年額(円)	市名	交付年額(円)
一宮市	360,000	小牧市	300,000	豊明市	150,000
瀬戸市	150,000	稲沢市	240,000	日進市	150,000
半田市	0	東海市	216,000	清須市	180,000
春日井市	360,000	大府市	180,000	北名古屋市	120,000
津島市	150,000	知多市	198,000	弥富市	0
犬山市	150,000	尾張旭市	150,000	あま市	0
常滑市	108,000	岩倉市	180,000	愛西市	0
江南市	150,000				

## 第17回 デ・レーケ記念交流レガッタ



9月9日(日)、岐阜県海津市の長良川国際レガッタコースにて開催されました「デ・レーケ記念交流レガッタ」議員の部において当市議会のAチームが優勝しました。また、9月29日(土)、兵庫県豊岡市で行われた、全国市町村交流レガッタ豊岡大会に参加しました。

# 議会活動日誌

## 24年 8月

2日	西保地区防災コミュニティ工事安全祈願祭 海部南部水道企業団議会工務委員会 海部南部水道企業団議会総務委員会
6日	海部地区急病診療所組合議会定例会 議会広報特別委員会研修
7日	海部南部水道企業団定例会
8日	環境事務組合議会全員協議会
9日	愛西市平和記念式典
14日	庁舎建設等調査特別委員会
26日	愛西市防災訓練
28日	議会運営委員会 議会活性化協議会

## 24年 9月

4日	9月議会定例会（9月27日まで） 全員協議会
5日	佐屋・立田地区敬老式

9日	デ・レーケ記念交流レガッタ大会（海津市）
12日	八開・佐織地区敬老式
19日	総務委員会
20日	文教福祉委員会
21日	経済建設委員会
24日	決算特別委員会
27日	議会運営委員会 全員協議会 議会広報特別委員会
29日～30日	全国市町村交流レガッタ豊岡大会（兵庫県豊岡市）

## 24年 10月

5日	議会広報特別委員会
9日～11日	第5回全国市議会議長会研究フォーラム
12日	議会広報特別委員会
16日～17日	総務委員会行政視察（茨城県潮来市、千葉県市川市）
18日	議会広報特別委員会
30日～31日	文教福祉委員会行政視察（広島県安芸高田市、広島市）

## 平成24年12月定例会の開催日程（予定）

12月定例会は、

**12月3日(月)から12月26日(水)**

までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

12月3日(月)	本会議(第1日)
12月11日(火)	本会議(第2日) 議案質疑
12月13日(木)	本会議(第3日) 一般質問
12月14日(金)	本会議(第4日) 一般質問
12月17日(月)	予備日(一般質問)
12月18日(火)	総務委員会
12月19日(水)	文教福祉委員会
12月20日(木)	経済建設委員会
12月26日(水)	本会議(最終日) 討論・表決

## 編集後記

11月の別名を「霜月（しもつき）」と呼ぶのはご存知の事と思います。字のごとく「霜が降りる月」からきているわけですが、10月に入っても最高気温を更新するなど、朝夕と日中の気温変化が激しい日々が続きました。市民の皆様も体調管理には大変ご苦労されたことと思います。

東日本大震災以来、共生社会、支え合いの社会づくりが叫ばれるわけですが、「南海トラフ巨大地震」に対して国が出した被害想定について、多くの市民の皆さんが不安を抱えていることと思います。市議会としても防災対策には最善を尽くしてまいります。

皆様からのご意見・ご感想がありましたらお寄せ下さい。  
(竹村記)

委員長 真野 和久  
副委員長 竹村 仁司  
委員 山岡 幹雄  
大野 則男  
島田 浩  
吉川三津子